



2020年12月16日

日本鉄道労働組合連合会

北陸地方協議会 第30回幹事会（総会）

仲間との団結で難局を乗り越えていく！

JR連合北陸地方協議会は、12月11日、金沢市内において、第30回幹事会（総会）を開催した。

冒頭、挨拶で沓掛勇介議長（JR西労組金沢地方本部執行委員長）は、コロナ禍や北陸新幹線の工期延伸も含め様々な課題に果敢に取り組んでいく決意を示した上で「制限のある中で労働運動を練れていない部分もあるが、若返りを図りながら周囲を巻き込み、魅力ある運動作りをしていこう」と力強く呼び掛けた。



来賓挨拶では、JR連合今井孝治企画部長が、コロナ禍においても日々の運行とサービスを支えていただいている点と、緊急政策課題の解決に向けた署名に精力的に取り組んでいただいた点への感謝を述べた上で、①要請行動を通じて見えてきた政策活動の成果と課題、②「JR連合ビジョン」を通じた組織の強化・拡大の必要性、③現下の厳しい情勢を踏まえた2021春季生活闘争、④北陸新幹線の工期延伸についての労働組合としての取り組みについて課題提起を行った。また、本幹事会はJR西日本連合金沢地方本部第29回幹事会と並行して議事が運営され、JR西労組白壁靖子中央副執行委員長（JR連合特別執行委員）からは、各グループ労組における年末手当交渉へ敬意を表すとともに、2021春季生活闘争への意気込みや各単組とのつながりの重要性が語られた。さらに、JREユニオン船山勝広新潟地方本部執行委員長からは、課題認識を共有する数多くの仲間に対し、JREユニオンがJR東日本に宛てて発した提言書「会社と共に！」を配布する取り組みを展開していること、その結果として共感の輪が職場段階で着実に進捗していることが報告された。

その後すべての議題が執行部より提起され、活発な質疑と答弁の後に満場一致で承認され、役員を選出についても執行部の再任が承認された。

なお、本幹事会の閉会後は同会場にて、JR西労組金沢地本・西バス地本、JREユニオン新潟地本、JR金沢メンテック労組、JRサービスネット金沢労組、関西工機労組の各単組が集う貴重な機会であるため、意見交換を行う場とした。この間の取り組みについて情報共有するとともに、このような時こそ団結してがんばることの大切さを噛み締め、厳しい局面をともに乗り越えていくことを誓い合った。